

久留米大学を受診した患者さんへ

「(研究課題)」の研究に使用する試料(情報)について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の試料(情報)を使用します。

- 1) 期間：○(平成14)年1月から○(平成27)年12月
- 2) 受診科： 外科 または 複数科にわたるもの
- 3) 対象疾患名：遠位胆管癌
- 4) 使用する試料(情報)：(血液、細胞、組織、診療情報等)

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。
ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：久留米大学外科学講座肝胆膵部門
研究代表者：助教 川原 隆一
研究責任者：教授 奥田 康司
研究分担者：助教 新井 相一郎
助教 室屋 大輔

2) 研究の意義と目的：癌の色々な臨床検査結果から生命予後に強く関与する因子を抽出し、その因子が術前にわかる場合には、手術以外の治療の選択も可能かどうかを考える根拠を検討する。

3) 研究の方法：手術方法や術後の抗がん剤治療が現行と同じ時期での手術を行った患者さんの採血・術前画像・病理診断結果を用いて、それぞれの因子の生存率を比較する。

4) 研究期間：平成28年3月倫理委員会承認後～平成28年12月31日

5) 上記の試料(情報)の使用を選定した理由：手術術式に関しては、研究期間以前では縮小手術も多く、現行と比較することがこんなであると判断した。抗がん剤に関しては、研究開始期間が現行でも使用している抗がん剤を使用し始めた年で、術後の生存に寄与すると思われる、それ以前のものとは比較することは困難と判断した。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：患者さんの名前は公表せず、画像も検討した結果のみで個人が同定できないように配慮する。

7) 研究成果の発表の方法：専門の学会と論文にて発表する。

8) 利益相反：本研究は特定企業からの資金援助はありません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

川原隆一 久留米大学外科学講座肝胆膵部門

〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67

TEL 0942-31-7567 FAX0942-35-8967